（様式２－２）

　　年　　月　　日

広島県知事　殿

医療機関名

施設長名

（押印省略）

広島県がん情報の提供の請求について（申出）

このことについて、がん登録等の推進に関する法律（平成２５年法律第１１１号）第２０条の規定に基づき、別紙のとおり、当院が届出した広島県がん情報の提供を申し出ます。

　なお、申出の詳細については、別紙のとおりです。

|  |  |
| --- | --- |
| 申出者の別 | 第２０条・・・・・病院等への提供 |
| 情報の種類 | 広島県がん情報（平成２８年１月１日以降の症例に係る情報） |

（別紙：様式２－２関係）

１　情報の利用目的（該当する項目にチェックすること。）

≪院内がん登録のため≫

　添付：　不要

≪がんに係る調査研究のため≫

　添付：　研究計画書等（具体的に利用目的を記載すること。）

２　利用者の範囲（該当する項目にチェックし、必要事項を記載すること。）

添付：　様式２－３（事務処理要領【以下「要領」という。】第８条第２項）

　添付：　調査研究の一部を委託している場合は、委託契約書の写し等又は様式４－２（要領第８条第７項）

【院内がん登録のため】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属機関名 | 職名 | 役割 |
|  |  |  | 例）責任者、入力作業 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※利用者の人数に応じて、表を追加すること。

【がんに係る調査研究のため】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属機関名 | 職名 | 役割 |
|  |  |  | 例）分析結果解釈助言、提供依頼申出者、  統括利用責任者、分析方法助言、分析 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※　利用者の人数に応じて、表を追加すること。

３　利用する情報の範囲（必要事項を記載すること）

　　診断年次

　　　　　　年から　　　　年診断

４　調査研究方法（院内がん登録のための場合は省略可）

（１）情報を利用して実施する予定の調査研究方法について記載すること。なお、利用する情報ごとに利用者が異なる場合は、その旨も併せて記載すること。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

（２）登録情報を利用する調査研究の目的に応じて、それぞれ書類を添付すること。（該当する項目にチェックすること。）

　≪集計表の作成及び公表を目的とする調査研究の場合≫

　添付：　集計表の様式案（要領第８条第１項第１号）

　　≪統計分析を目的とする調査研究の場合≫

　添付：　統計分析手法並びに当該分析における登録情報の関係を具体的に記述した書類等（要領第８条第１項第２号）

５　利用期間

　　必要な限度の利用期間を記載すること。（要領第１７条第４項）

例）　年　月　日まで又は提供を受けた日から５年を経過した年の１２月３１日までの期間の短い方

|  |
| --- |
|  |

６　利用場所、利用する環境、保管場所及び管理方法（該当する項目にチェックし、必要事項を記載すること。）

（１）情報の利用場所を記載すること。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

（２）情報の利用場所の組織的、物理的及び技術的安全管理措置状況について、具体的に記載すること。

≪組織的≫

　統括利用責任者は、個人情報の漏洩等の事故発生時の対応手順を整備している。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

≪物理的≫

　個人情報の利用場所及び保存区画は、他の業務から独立した部屋である。

　利用責任者は、利用場所への入室を許可する者の範囲を明らかにしている。

　利用責任者は、利用場所の入退室時の手続きを明らかにしている。

　機器類（プリンタ、コピー機、シュレッダなど）は、他の業務と共用せず、利用場所内に設置している。

　個人情報の保存区画の施錠は、前室と利用場所等、二重にしている。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

（３）情報の利用時の電子計算機等の物理的及び技術的安全管理措置状況について

≪技術的≫

　システム管理者によって管理されている不正侵入検知・防御システム及びウイルス対策機能のあるルータで接続されたネットワーク環境を構築している。

　情報を取り扱うＰＣ及びサーバは、ログインパスワードの設定を行っている。

　ログインパスワードを８桁以上に設定し、第三者が容易に推測できるものは避けている。

　ログインパスワードを定期的に変更し、以前設定したものの使い回しは避けている。

　ログインパスワードを第三者の目につくところにメモしたり、貼付したりしていない。

　外部ネットワークと接続する電子媒体（ＵＳＢメモリ、ＣＤ－Ｒなど）を、情報を取り扱うＰＣ等に接続する場合は、ウイルス等の不正なソフトウェアの混入がないか、最新のウイルス定義パターンファイルを用いて確認している。

　情報を取り扱うＰＣ等は、安全管理上の脅威（盗難、破壊、破損）、環境上の脅威（漏水、火災、停電）からの保護にも配慮している。

　個人情報を取り扱うＰＣ等は、スタンドアロン又は物理的若しくは論理的に外部ネットワークから独立した有線の環境である。

　個人情報を取り扱うＰＣ及びサーバは、生体計測＋ＩＤ・パスワード等の２要素認証としている。

　情報を取り扱うＰＣ及びサーバにチェーン固定等の盗難防止策を講じている。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

（４）情報、中間生成物及び成果物を保存する媒体の種類及びその保管場所並びに保管場所の組織的、物理的及び技術的安全管理措置状況について

≪物理的≫

　情報を含む電子媒体及び紙媒体を保管する鍵付きキャビネット等を整備している。

　情報を保存するロッカー、キャビネットは、施錠可能な利用場所に設置している。

|  |
| --- |
| （具体的に記載） |

７　調査研究成果の公表方法及び公表予定時期

　　例）　年　月頃　〇〇がん学会学術集会にて発表予定

年　月頃　〇〇がん学会雑誌に論文投稿予定

年　月頃　ホームページにて公表予定等

|  |
| --- |
|  |

　　例）情報の移送用のＤＶＤ：裁断

　　　　サーバ・コンピュータ内の情報及び中間生成物：物理的削除

　　　　試行的に作成した集計表や中間分析結果等の中間生成物の印刷物：溶解

|  |
| --- |
|  |

９　その他

事務担当者及び連絡先等を記載すること。

事務担当者及び連絡先

氏名（ふりがな）：

電話番号：

メールアドレス：

郵便番号・住所：

　　他、必要事項があれば記載すること。

|  |
| --- |
|  |